



平成29年8月10日

各 位

上場会社名 株式会社中村超硬  
 代表者 代表取締役社長 井上 誠  
 (コード番号 6166)  
 問合せ先責任者 取締役社長室長 増田 宏文  
 (TEL 072-274-1072)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年5月12日に公表した第2四半期連結累計期間の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成30年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,000	70	40	30	6.41
今回修正予想(B)	5,500	400	350	300	64.12
増減額(B-A)	500	330	310	270	
増減率(%)	10.0	471.4	775.0	900.0	
(ご参考)前期第2四半期実績(平成29年3月期第2四半期)	1,933	△194	△297	△261	△56.48

#### 修正の理由

当社グループの主力事業である電子材料スライス周辺事業において、多結晶シリコンウエハ市場でダイヤモンドワイヤを使用する固定砥粒方式への移行が急激に進んだこともあり、ダイヤモンドワイヤの販売数量が当初計画数量を上回る見通しとなりました。また、特殊精密機器事業、化学繊維用紡糸ノズル事業においても計画に対し増収基調で推移しており、第2四半期累計期間における連結売上高は前回予想を上回る見込みであります。

利益面においても、増収による影響に加え、かねてより推進してきた原価低減活動にも一定の成果が出たことで、前回予想を上回る見通しであります。

なお、今後の事業環境については、中国をはじめとするグローバル市場においてダイヤモンドワイヤの需要拡大は当面継続するものと見込んでおり、当社グループは生産拡大に向けた投資判断を必要に応じ今後も行っていく予定であります。また、中国外の複数の新規顧客からの引き合いが増加していることや、単結晶シリコンウエハ市場においては、高付加価値製品である60μmワイヤの導入が急速に進むことが想定される等、主力製品であるダイヤモンドワイヤの事業環境は今後も変化していく見通しであります。

このように、現時点における将来見通しについては不確定要素が多いため、平成30年3月期通期の業績予想については従来予想を据え置くことといたします。今後の市場ならびに業績動向を踏まえ、修正の必要が生じた際には速やかに公表いたします。

※上記の業績予想等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、今後様々な要因により上記予想数値と異なる可能性があります。

以上